

—三年間を振り返って、水泳部生活はどうだった？

菊：一年のときは、わけもわからず 16 校を迎えたくんですけど、引退式の 3 6 期の先輩方を見て、単純にすごいなって思いました。部活に対する自分との思い入れが違って、自分も二年後あんな風に引退を迎えるなんて想像付きませんでしたね。

—とは言っても、いよいよあと数日で引退だね。

関：この夏の目標としては、自分としては短い間だったけど、これまで積み重ねてきた水泳部の歴史を継げるような記録を残したいです。今日からテーパー期間ですし、すでに練習としては大きな山を越えてきました。これからは制限をきることも大事ですが、常に本番のベストを意識して練習していこうと思います。

小：女子の目標で言うと、全員ベストです！

—全員ベスト？！

小：私たちの代は青ベストいっぱいでした。今年の 16 校で 10 個にします！

—これは応援に熱が入りそう。16 校に期待しましょう。

さて、38 期はどんな代でした？

関：(照)。

菊：照れんなよ！(笑)

小：「熱かった」の一言ですね。男子はこれまでの先輩方の部活に対する愛をちゃんと引き継いでいるなあと思います。あ！女子もです！！

—そんな 38 期を物語るエピソードをお願いします。

菊：あれは僕らがスキー旅行に行ったときの話です。男子でスキー旅行に行こうとしていた時、たまたま同期の女子もスキー旅行に行ってたんです。

—すごい偶然！男女バラバラで同じ日程で？

小：そしたら、女子の中で「ふざけて男子に告白しようよ！」なんて話になったんですよ。

菊：ところが、実際には男子は塾とかで予定が合わなくて行かなかったんですよ。もう、スキーに行けないのを悔みながら一生懸命必死に勉強していたのに、女子からふざけたメールがきて…。

